

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北関東)	◎	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の解除に伴い、来客数が増えてきている。しかし、求人募集をしてもなかなかスタッフが集まらず、当分は稼働を抑えて営業せざるを得ないのが現況である。
	○	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新規テナントの導入で、来客数が前年比で10%増加している。
	○	百貨店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数の減少に伴い、徐々に店舗への来客数が増加傾向にある。
	○	コンビニ（経営者）	単価の動き	・前年比で売上101%、来客数97%、客単価104.6%となっている。リモートワークが定着化し、来客数は戻らず減少傾向である。客単価の4.6%の伸びも、買上点数の伸びというよりは、商材の値上がりが影響していると思われる。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・競合店の閉店により、来客数及び売上が増加している。
	○	コンビニ（店長）	来客数の動き	・季節的に暖かくなってきたためか、人の動きが多くなっているようである。
	○	家電量販店（店員）	販売量の動き	・前年度は前月比118%で、今年度の前月比は127%と、前月比では伸びがあったものの、前年同月比は94%と前年をクリアできていない。前年をクリアした商品群はエアコン、冷蔵庫、家事家電等である。巣籠り需要ははまだ健在である。
	○	一般レストラン [居酒屋]（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置適用中も含め、客の外出や外食への欲求の声が増している。解除後は、早々に来客数が激増している。新しい生活様式の定着で、当面の予防対策も常識化し、違和感なく入店頂けるようになってきている。
	○	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・3月に入り客足が増え、まん延防止等重点措置も解除され少しずつ通常に戻って来ている。
	○	都市型ホテル (支配人)	お客様の様子	・まん延防止等重点措置が解除され、宿泊の稼働率も上がり、会合等の動きも活発になってきている。
	○	都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の解除に伴い、宿泊は個人客を中心に予約の動きがかなり活発となってきており、日々の予約数や売上も伸びてきている。しかし、料飲部門に関しては、依然として低調な動きが続いている。
	○	旅行代理店（所長）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数が徐々に下降傾向にあり、まん延防止等重点措置も解除され、若年層の客を中心に動きが出てきている。
	○	旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・4月以降の動きが消えずに残っている。まん延防止等重点措置が解除されたことは大きい。
	○	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除され、少しずつ来園者も増えてきている。
	○	競輪場（職員）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置適用期間中ではあったが、全国発売のレース開催もあり、想定よりも多くの来場者がある。
	○	設計事務所（所長）	お客様の様子	・年度末だからか、次年度を見据えた活動が開始されているようである。
	□	一般小売店 [精肉]（経営者）	お客様の様子	・花が咲く良い季節になってきて、まん延防止等重点措置も解除となり、少し安心できる状態である。ただし、いまだに新型コロナウイルスオミクロン株の心配があるので、皆、外に出ることを遠慮している。
	□	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除されたものの、依然として新型コロナウイルスの新規感染者数は高い水準にあり、来客数の回復には至っていない。富裕層の動きは堅調であるものの、来客数に連動する中間顧客層については、依然低調である。
□	スーパー（商品部担当）	単価の動き	・来客数の減少、客単価上昇により、売上は前年比100%を維持できているものの、食料品や生活必需品の値上げ等、家計を圧迫する話題は多く、厳しい状況は変わらない。	

□	乗用車販売店 (販売担当)	お客様の様子	・大型のリゾートホテルや格安チェーンホテルには、そこそこ客が入っているが、中間層のホテルでは全くといって良いほど入っていないホテルもある。新型コロナウイルスの影響が落ち着くまでは、まだしばらく景気が良くなることはない。特に、日本人従業員が解雇されて、ベトナム、フィリピン等の外国人を雇い直しているようなホテルも増え、人件費も出ないような感じなので、観光地は良くない。
□	自動車備品販売 店(経営者)	販売量の動き	・販売量、客の動きは、まあまあといったところで、動きもある。しかし、例年3月の繁忙期の動きまでには至っておらず、なかなか読めない。
□	その他専門店 [靴小売業] (経営者)	来客数の動き	・前月と流れは変わらない。客の来店は新型コロナウイルスの影響で、特に、子供が少ない。また、前月と同様にメーカーの商材入荷が不安定で見通しが悪く、不安である。また、この先2～3か月かけて仕入値の値上げが増えてきている。新型コロナウイルスとウクライナ状況の影響が、じわじわ出ている感じである。
□	旅行代理店(経 営者)	販売量の動き	・まん延防止等重点措置が解除されたものの、新型コロナウイルスの新規感染者が多いため、回復してこない。
□	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株が流行し出して、また人通りがなくなっている。まん延防止等重点措置が解除になっても変わらない。家飲みに慣れてしまったのか、新型コロナウイルス前には程遠い。これから先も、しばらくはこの状況が続くような雰囲気である。
□	タクシー(経 営者)	お客様の様子	・昼の動きは良くなってきたが、夜の動きが悪いので、2年前の同月と比べて10%の減少である。
□	通信会社(総務 担当)	販売量の動き	・前年同月比2割ダウンの状況が変わらず続いている。
□	通信会社(局 長)	来客数の動き	・来客数は2割程度増えてきているものの、先行きが見えない状況のため、このまま好転するとは思えない。
□	美容室(経 営者)	来客数の動き	・円安の影響で輸入物価はうなぎ上りである。消費者は食料品購入が最優先のため、おしゃれ産業への出費は財布のひもが固くなっている。
□	設計事務所(所 長)	お客様の様子	・まん延防止等重点措置が解除されたものの、依然として宴会等は自粛ムードが強く、いまだ景気が回復したとはいえない。
□	住宅販売会社 (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、住宅建築期間が掛かることから、様子見の客が増えている。
□	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・街中では貸店舗、貸家がまだかなり多く目立つ。ここに来て、次なる展開のために事務所を探している方や、貸店舗で営業を始める方からの問合せは、ちらほら増えてきたような感じがする。ただ、依然としてなかなか成約までには至らない。
□	その他住宅[住 宅管理・リ フォーム](営 業)	お客様の様子	・客のリフォームや修繕への関心は高いものの、引き続き慎重な姿勢が目立っている。
▲	商店街(代表 者)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、高齢者が外出を控える様子が顕著である。ウクライナ情勢の影響による物価高騰の懸念も拭えず、買い控えが進んでいる。
▲	一般小売店[家 電](経営者)	来客数の動き	・いまだに新型コロナウイルスの影響が続いており、給料、賃金が下がっている状態の客も結構いるので、なかなか購入しようという気にならないようである。
▲	一般小売店[青 果](店長)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、人が出歩かない上に、飲食店等ではほぼ休みのところも多いため、かなり悪くなっている。
▲	百貨店(店長)	販売量の動き	・売上、客足共に、前年末には回復基調となったものの、まん延防止等重点措置が適用されていたこともあり、再び悪化している。

▲	コンビニ（経営者）	単価の動き	・ウクライナ問題や円安等で、原材料価格が上がっており、我々小売の値段もどんどん上がっている。そうしたことから、今後は客が買い控えるのではないかと、スタグフレーションになるのではないかと心配している。
▲	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・ずっと、まん延防止等重点措置が適用されていたので、悪いなかでも、ずるずると緩い坂道を下っていくような感じで、日に日に悪くなってきている状況であった。客の動きも、来店する以前に本当に街中に出てきていない。こうした状況なので、生きていけるのかという気がしてならない。
▲	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・ロシアによるウクライナ侵攻が続き、世界が不安に陥っている。また、新型コロナウイルス禍のまん延防止等重点措置が解除されたが、市民はまだ安心には至らないと考えているようで、財布のひもが固い。
▲	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・発注が減少している。
▲	住関連専門店（店長）	それ以外	・ウクライナ情勢により、物価が不安定になっている。
▲	住関連専門店（仕入担当）	単価の動き	・商材価格の高騰が食料品から顕在化してきて、低単価品への移行等、消費者の意識が再び生活防衛に傾きつつある。また、好調だったレジャー関連も伸び率が鈍化してきている。生活防衛にウクライナ問題が複合して、消費マインドを押し下げている。
▲	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除されても、客の動きは鈍い。
▲	一般レストラン（経営者）	それ以外	・原材料の値上げはどれと問わず、ぐんと上がってきている。かといって売値をすぐ上げるわけにもいかないのが辛いところである。
▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	販売量の動き	・事業所給食部門では、サプライチェーン上の影響で、受託先メーカー工場の一時稼働停止があり、幼稚園や保育園、介護施設では新型コロナウイルス感染拡大の影響による休園がある等、急な提供食数の変更等による不安定な業績が続いている。外食部門では、まん延防止等重点措置が解除されたものの、歓送迎会等の実施が見送られていることから、例年並みまで回復するには時間が掛かるものとみられる。
▲	通信会社（営業担当）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の影響から、来客数は戻らず景気の回復は見られない。21日以降の解除後の動きについては、まだ主だった動きは出ていない。
▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大の状況で、生活へのものろもろの制限が改善されない。諸物価上昇、ガソリン価格高騰が追い打ちとなり、先の見えない不安感から、ますます財布のひもが固くなっている。車検や整備、板金塗装も、そこそこの仕上げでと希望する客が増えている。
×	一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・今月ようやくまん延防止等重点措置が解除され、月の後半に向かって客足、販売量共に増えてきている。ただし、新型コロナウイルス以前の状況と比べると、依然として6割弱の売上しかない。3か月前は新型コロナウイルスオミクロン株流行前の束の間の繁忙期だった頃であり、その時点と比較すると景気は悪いままである。
×	衣料品専門店（統括）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染対策状況に入ってから2年がたつ。ここ数か月、同じような回答しかできない。まん延防止等重点措置が解除になったが、なかなか客が戻ってくる様子はない。
×	家電量販店（営業担当）	お客様の様子	・中小企業の取引先の倒産や業務の縮小等があり、当社の業務が拡大できない。輸入商材の高騰により計画的な業務遂行に支障が出ている。計画時よりも価格が140%以上に値上がりしている。
×	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・明らかに休業等が増えている。
×	都市型ホテル（経営者）	販売量の動き	・政府の景気対策が飲食店の景気を悪化させているのは事実である。

	×	通信会社（経営者）	販売量の動き	・販売量は新型コロナウイルス以前の6割減少のままで、いまだに個人店や中小企業に広報の動きはない。
	×	ゴルフ練習場（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大のためのまん延防止等重点措置適用期間は、来店客が激減している。
企業 動向 関連  (北関東)	◎	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・現状、受注は微増しているが、部品がなくて止まっている状況が続いている。受注量は多くなっているが、売上の伸びには厳しい。
	○	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主力製品の受注量が上向き、横ばいから増加になりつつある。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・年度末ということもあるが、取引先からの発注が増加している。当社は通常の製造業と違い、取引先が30社ほどあり多岐にわたっているが、ほぼ全社が改善傾向にある。
	○	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先は十数社あるが、1～2月は最悪だったものの、3月に入り半分くらいの会社で仕事が戻り、やや良い状況になっている。
	○	不動産業（経営者）	取引先の様子	・4月の新規入居に備えて、室内清掃や全面改装工事などの依頼が多い。費用をかけても回収できると見込んでいる様子を感じる。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・諸物価が上昇し、製品価格も改定しなければならぬと考えている。
	□	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・昇降機の受注量は好転するかと思っていたが、新型コロナウイルス禍前の8割止まりかというところである。
	□	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・今月は新生活用品、白物家電、インテリア用品等の物量は前年並みに確保できている。また、新型コロナウイルス対策のまん延防止等重点措置が解除となり、2年抑えてきた企業の転勤等が多くなり、引っ越し車両が増えている。一般貨物車両が不足している。また、ウクライナ情勢の影響等での原油高もあり、運賃が高騰し車費が高くなっており、利益は薄くなっている。
	□	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・まん延防止等重点措置の解除で、滞っていた作業ができるようになり、年度をまたがずに売上計上できるのは良かった。一方で、国際情勢や半導体不足により、資材入荷が遅れて納期が来月にずれ込むものも出ている。
	□	経営コンサルタント	それ以外	・まん延防止等重点措置がようやく解除になり、県内企業のマインドが戻りつつある。飲食店や商店に向かう人の流れもでき始めているが、まだ少し時間を要する。
	□	司法書士	受注量や販売量	・世の中がやや動き出したような気がする。
	□	その他サービス業 [情報サービス]（経営者）	取引先の様子	・引き合い、商談件数は増加傾向にあるが、いまだ様子見の状況である。
		▲	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き
	▲	広告代理店（営業担当）	それ以外	・3月に入って、閉店する飲食店が目立つようになっている。また、食材や酒の卸会社も相当なダメージを受けている。
	▲	社会保険労務士	取引先の様子	・原材料価格の高騰に対し、上手に価格転嫁できずにいる事業所が多い。
	×	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占める建設業を営んでいる。現与党政権誕生後、現政権まで公共工事は順調に推移しており、業界としても大変有り難い。ロシアのウクライナ侵攻は断じて許されることではなく、他国を武力侵攻するのは暴挙でしかない戦争犯罪である。今期公共工事は前年比14%減で、当社受注も前期比10%減と厳しい状況である。
雇用 関連  (北関東)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・今月は、4月からの各種値上げを前にした動きや、卒入学準備で購買意欲が高まっていたと感じている。特に、衣料やギフト関係商材、家電関係は転入転出等による新生活準備の影響もあり、一般的に購買意欲の向上がみられる。

○	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・求人数は、新型コロナウイルス以前の水準に戻りつつある。
○	人材派遣会社 (管理担当)	求職者数の動き	・高時給の仕事に多くの人が応募している。希望する仕事の求人があるのか、求職者が多くなっている。
○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・自動車関連製造業や食品製造業から、受注増加に伴う求人が増加している。ただし、飲食業等からの求人は低迷している。
□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・製造業では需要はあるものの、資材調達が滞っているため、安定供給に支障をきたしている。自動車用金属部品製造、エレベーター、エスカレーター製造、家電電子部品製造業では、半導体不足により生産が停滞する等の影響が出ている。作業量は回復傾向にあるが、材料、電力、原油価格の高騰で利益につながらないので、雇用をちゅうちょしている状況にある。
□	学校〔専門学校〕 (副校長)	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスに加え、ウクライナ侵攻問題等で、物流の不安定さや原油価格高騰の影響を受け、取引業者の状況は不透明になっている。
▲	*	*	*
×	*	*	*